

文 部 大 臣
田 中 龍 夫 殿

日 本 学 術 会 議 会 長
伏 見 康 治

昭和57年度科学研究振興に必要な予算に
ついて（申入れ）

標記について、日本学術会議第566回運営審議会の議決に
基づき、下記のとおり申し入れます。

記

本会議は、従来から政府に対し科学研究の振興に関して勧告
を行つているが、なかでも、科学研究振興のための国家予算の
一層の拡充とその体系の整備の緊要性について力説してきた。
また、文部省所管の科学研究振興費、特に科学研究費補助金は、
我が国の学問、とりわけ基礎科学の発展に果たしている役割並
びに科学者の同補助金に対する期待が極めて大きいものである
ところにかんがみ、その大幅な増額を毎年強く要望してきたと
ころである。

これに対し、貴省はじめ関係方面の配慮により、科学研究振

興に必要な経費は着々と増額をみ、科学研究費補助金総額は、昭和56年度において358億円に達している。それにもかかわらず、この予算総額は当該年度の申請総額1,330億円からみても、なお極めて不十分である。

我が国は産業・経済・社会・文化の各般にわたって今や大きな転換期を迎えており、独創的かつ先見性のある科学技術の研究開発を推進することが焦眉の急となつている。このような独創の芽を育てる基盤としての基礎的研究の果たす役割の重要性にかんがみ、その助成を目的とする科学研究費補助金の大幅な増額を切望するものである。

本会議は、昭和57年度においては、総額並びに研究種目の区分を下表のとおりとすることを適当と認めたので、その実現を強く要望するとともに、人文・社会・自然科学の各分野を通じ、科学研究の調和ある発展のため、これを有効適切に使用方法についても更に配慮を加えられるよう要望する。

なお、特定研究(A)については、すべての特別研究について研究計画の年限を明示した時限研究とすることが望ましい。

科学研究費補助金の研究種目名					申入額(億円)
科	学	研	究	費	869
	特	定	研	究(A)	62
	特	定	研	究(B)	67
	総	合	研	究	68
	一	般	研	究	518
	奨	励	研	究	59
	試	験	研	究	83
	海	外	学	術	調
	特	別	研	究	査
			促	進	費
研	究	成	果	刊	行
				費	18
合				計	887